

【学校教育目標】 自ら学び たくましく生きる 心豊かな児童の育成
～意欲・笑顔・思いやり～

【研究主題】 共に考え 豊かに表現する子の育成
～モチベーションUP×経験値UP＝自信UP～



学びをつなげる振り返りの工夫



自信をもって表現する子
＝豊かに表現する子



	低学年	中学年	高学年
目指す児童像	相手を意識して、大事なことを落とさないように話したり聞いたりすることができる児童	相手や目的を意識して、自分の思いや考えを筋道立てて話したり、話の中心を捉えて聞いたり、進行に沿って話し合ったりすることができる児童	目的や意図に応じて、自分の思いや考えが伝わるように工夫して話したり、話の内容を捉えて自分の意見と比較しながら聞いたり、計画的に話し合ったりすることができる児童
話す	<ul style="list-style-type: none"> 相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基づいて、話す事柄の順序を考える。 伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> 相手に伝わるように理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるよう話の構成を考える。 話の中心や話す場面を意識して、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> 話の内容が明確になるように、事実と感想、意見とを区別するなど、話の構成を考える。 資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫する。
聞く	<ul style="list-style-type: none"> 大事なことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> 必要なことを記録したり質問したりしながら聞き、話の中心を捉え、自分の考えをもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> 話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめる。
話し合う	<ul style="list-style-type: none"> 身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶ。 互いの話の関心を持ち、相手の発言を受けて話をつなぐ。 	<ul style="list-style-type: none"> 目的を意識して話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合うために必要な事柄を選ぶ。 目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> 目的や意図に応じて話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討する。 互いの立場や意図を明確にしながらかつ計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりする。

※2学年間で繰り返し指導し、子どもが確実に指導事項を身に付けられるようにしていくことを大切にする。